

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年12月 8日更新

事務事業名		市民農園維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	6	産業の健康			所属部	産業振興部	課長名	右田 純司
	施策	26	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	丸田 朱莉
	施策の柱	71	関係機関との連携の強化			所属班	農政班	(内線)	5224
予算科目	会計一般	款 6	項 1	目 10	事業連番 10275	根拠法令	市民農園法 合志市市民農園条例		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 2年度で終了 <input type="checkbox"/> 2年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	農園づくりの体験を通じた農業への理解と親しみを市民に普及させるため、農園を貸し出し、使用料を徴収し、農園の維持管理を行う。地産地消や安全・安心が叫ばれる中、自ら農園で作物を栽培し、農業への理解を深めてもらおうと、平成13年度に市民農園法に基づき農園を整備し翌年度より利用者を募集し貸し出ししている。21年度に区画の見直しを行い104区画となり、更に23年度には20区画を増設し、更に御代志に21区画を新設した。現在、145区画。28年度に福原農園西側道路改良工事に伴い、10区画減。現在、135区画。
【業務の流れ】	募集、契約、貸し出し、使用料(調定、納付書発送、納付確認)、施設の維持管理
【主な予算費目】	需用費、消耗品費、光熱水費、修繕費、施設修繕費、燃料費、役員費、委託料、使用料及び賃借料
【意見や要望】	水道蛇口の増設や作業道具の充実など、農業体験を快適に行うための要望がある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)	市民農園条例により、適切に市民農園の維持管理事業を行った。(福原農園 114区画、御代志農園 21区画)	3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 募集、契約、貸し出し、使用料(調定、納付書発送、納付確認)、施設の維持管理
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 区画 ア: 利用区画 イ:	予算の主な増減の理由
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 人 ア: 借受者+申込者 イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	市が管理する農園で農作物の栽培が出来る。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 倍 ア: 空き区画に対する申込者の割合 イ: (申込者数÷募集区画数)
*③成果指標設定の理由と3年度目標値設定の根拠 市が準備した農業体験施設を市民に十分に活用してもらう必要があるため。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	30年度 実績(決算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	2年度 実績(決算)	3年度 目標(当初予算)	4年度 予定	5年度 見込	6年度 見込
① 活動指標	ア 区画		135	135	135	135	135	135	135	135
	イ									
② 対象指標	ア 人		120	130	135	135	135	135	135	135
	イ									
③ 成果指標	ア 倍		0.5	0.5	1	0	1	1	1	1
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	537	527	546	545	546	546	546
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	353	391	325	309	325	325	325
		(A) 事業費計	千円	890	918	871	854	871	871	871
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	1,458	1,070	0	512	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,348	1,988	871	1,366	871	871	871		

事務事業名	市民農園維持管理事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	------------	-----	-------	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は2年度の事後評価、ただし複数年度事業は2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 全区画利用されている	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 3年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 空き区画について利用者募集を行う。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 成果向上を考えると利用者を増やすことを考えなければならず、23年度において福原農園増設及び御代志農園新設をしているため、更なる農地の貸し出しは難しい。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業がない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 コスト削減は事業効果の減少につながる。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 事業効果の減少につながる。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 前年度末から、あらかじめ希望者をリストアップしておき、解約が出た都度、利用区画の案内している。また、市民のみ申込の受付をしており、利用区画面積に応じた利用料を徴収しているため、受益機会・費用負担の面において公平・公正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 他所の市民農園や家庭菜園に比べ、本市の市民農園は格安で貸し出している。民間が当事業を行うと利益を追求しなければならないため、農園利用者にとってはマイナスになると考える。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

あらかじめ利用希望者を担当課でリストアップしておき、空き区画が出た時点で利用希望者に利用区画を斡旋する。現時点で、解約者がでて、すぐに利用者を補充できる状態にある。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						